

## 様式4 6

## 警鳴装置点検表

検査項目	検査内容	補正・補修事項	判定
本体	外函 厚さ1mm以上の鉄板は腐食等生じていないか。		適・否
	錠 なんきん、えび錠を使用していないか。(錠)		適・否
	開口部 雨、雪、虫等が入り難い構造となっているか。		適・否
	外部から回路、警報部に直接接触しえないか。		適・否
警報器	種類 サイレン・ブザー・ベル・その他( )		適・否
	音量 1mの距離で80ボルト以上あるか。(ボルト)		適・否
回路	庫内電流は10ミアンペア以下になっているか。		適・否
	遮断により警報、警鳴が鳴るか。		適・否
	保安装置(避雷器、ヒューズ)は正常か。		適・否
	装置の作動テストにより、スイッチを押したとき、警報警鳴が鳴るか。		適・否
電源	電圧の消耗状況を示すメーター、標示灯は正常に作動しているか。		適・否
	交流使用の場合、停電等により自動的に予備電池に切り替わるか。		適・否
その他	警報を止めるスイッチ、作動テストスイッチ、電池及びメーター類は収納設備の内部に設けてあるか。		適・否
	故障箇所の発見、部品取換、修理が容易に行えるよう予備品、取替品等は用意してあるか。		
備考			